

2学期始業式式辞

皆さんおはようございます。皆さんの元気な顔を見ることができて大変嬉しく思います。例年より2週間ほど短い夏休みでしたが、いかがでしたでしょうか？この夏休みの目標は達成できましたか？また、普段ではできない体験・経験がたくさんあったのではないのでしょうか。始業式にあたり、昨年もお話した体験と経験、という二つのキーワードについて少しだけお話をいたします。

体験と経験、普段はほとんど区別せずに使っている言葉です。体験は、“実際に見たり聞いたり、行ったりすること”。経験は、“それらに加えて得られた知識や技能”までを含みます。実際に見たり、聞いたりしたことが自分の知識や技能となり他の人に伝えられることが経験です。実際に見たことや聞いたことでも、他の人に伝えることができないようならばそれは単なる体験であって経験ではないのです。体験したことを、本当に自分のものとするには、体験の後振り返り、記憶を明確なものにしたり、繰り返して練習をしたりの努力が必要です。学校の学習も同様です。授業で聞いたことを自分のものとするには努力が必要です。私たちは直接の体験、間接の体験を“経験”にすることができます。そのことが、今回の新型コロナウイルス感染症への対応から一人一人の個人としても、必要であると思います。

二学期多くの体験をして、それを経験に高めるよう頑張ってください。これで、二学期始業式の式辞とします。